

# 内陸大地震のしくみと仙台圏の活断層

市民公開講演会：入場無料

日時：平成29年6月2日（金）午後3時00分 ～ 午後4時30分  
会場：フォレスト仙台 2階 フォレストホール

**平成28年は内陸直下型地震の多い年でした。**

熊本地震にはじまり、鳥取県中部地震、福島沖地震（沿岸海域の活断層による）、最後は茨城県北部の地震と続きました。

東日本は、東北地方太平洋沖地震（平成23年3月11日）によって地面に加わる地震のバランスが変わり、余震や誘発地震が継続しています。

仙台圏にも長町－利府活断層という第一級の活断層が存在しています。

今回は、内陸直下型地震のしくみと『共助』の精神の大切さについてお話をいただきます。

《講師》 東北大学災害科学国際研究所 災害理学研究部門

教授 遠田 晋次氏

## 【プロフィール】

1966年生まれ

地震地質学者

東北大学大学院理学研究科前期博士課程修了

電力中央研究所

東京大学地震研究所

産業技術総合研究所

京都大学防災研究所を経て現職

著書に「連鎖する大地震」（岩波科学ライブラリー）、  
「活断層地震はどこまで予測できるか」（講談社ブルー  
バックス）などがある。



会場が満席になり次第、入場をお断りする場合があります。

また、駐車場はございませんので公共の交通機関をご利用ください。



## お問い合わせ先



公益社団法人 仙台市防災安全協会

総務課 TEL 022-271-1211